令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

企画部秘書課

企画部長 山田 宰

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
01-002	国際交流事業	あり	D	新型コロナウイルスの影響により、交換生徒相互派遣事業及び日本語教室「さくら」は開催することができず、目標を達成することができなかった。しかし、コロナ禍においても日本語を学ぶことができるよう開催方法を検討し、定員を設け事前申込制にした「読み書き初級日本語教室」を開催したところ、多くの申込みがあり73人が受講することができた。新型コロナウイルスは終息時期が不透明なため、外出が制限される中でも交流や学びを継続できるよう、実施方法等を検討する必要がある。	改善 推進	対面によるコミュニケーションを大切に する国際交流事業においては、新型 コロナウイルスの影響により、交流の 停滞が懸念される。感染予防策や開催 方法を検討し、書画展等の文化交流 やオンラインイベントなど、コロナ禍に おいても安心して参加できる環境を 整えて交流を継続する。
課等長	1次評価(令和2年度の総括評価)					
D	日本語教室は、開催方法を工夫して実施できたが、ミッドランド市との交換生徒相互派遣事業は実施できなかった。新型コロナウイルスの影響は大きい、コロナ禍における国際交流の新しい形を考えるという点では課題が残った。先行きが見えない状況ではあるが、これまでの実施内容にこだわらず、新しい形を模索し、在住外国籍市民の学びの場が確保されるよう、支援事業の内容を検討していく。					
部等長	2次評価(令和2年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
D	予定していた事業が中止となったものの、方法を変更して日本語教室は開催し、学びの場を確保することができた。コロナ禍において、より一層の外国籍市民の支援事業の充実が求められており、日本語教室の開催方法の再検討などが必要である。また、姉妹・友好都市との交流事業も、オンライン等の活用により、これまでとは異なる形で、さらなる発展を目指す。					